

日本史特殊講義5A－Ⅱ

科目ナンバリング JPH-210
選択必修 2単位

矢越 葉子

1. 授業の概要(ねらい)

日本古代史を研究する上で、奈良時代の正倉院文書は欠かすことのできない史料群である。本講義では、正史や法制史料を交えつつ、一次史料である正倉院文書からわかる日本古代の実態を論じる。後期は正倉院文書のうち主に写経所文書や造営関係史料に基づき、写経事業を中心とした造寺・造仏、官司の運営、下級官人の生活等について扱う。

2. 授業の到達目標

- ①日本古代史研究における一次史料の重要性や特徴を理解し、説明できる。
- ②自分で問いを立て、考察できるようになる。
- ③講義で扱った内容の中からテーマを見つけ、参考文献をもとに理解を深め、自身の考えを述べられる。

3. 成績評価の方法および基準

- (1) 各回の授業内容についてのコメントシート 30%(到達目標①②)
- (2) 学期末に提出する4,000字程度のレポート 70%(到達目標①～③)

4. 教科書・参考文献

参考文献

丸山裕美子 『正倉院文書の世界—よみがえる天平の時代』 中公新書
栄原永遠男 『正倉院文書入門』 栄原永遠男 『正倉院文書入門』 角川学芸出版

5. 準備学修の内容

- ・ここに掲げた参考文献や、授業中に紹介する文献を読み、知識を習得しておくこと。
- ・各回の課題や学期末のレポートに備えて、本を読み論点・疑問点を挙げておくこと。

6. その他履修上の注意事項

授業にあたっては、毎回コメントシート(感想・質問)を提出してもらう。
授業内容は進捗により変更することがある。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
 - ・授業内容の概観
 - ・授業の進め方と評価方法の説明
- 【第2回】 写経所文書とは
- 【第3回】 日本古代における写経事業
- 【第4回】 五月一日経の創出とその意義
- 【第5回】 法会と経典書写
- 【第6回】 国分寺と経典書写
- 【第7回】 奈良時代末の一切経群
- 【第8回】 写経所の仕事と運営
- 【第9回】 写経生の食事
- 【第10回】 写経生の病気と休暇
- 【第11回】 写経所と都の市
- 【第12回】 正倉院文書に見える寺院の造営
- 【第13回】 大仏開眼会
- 【第14回】 正倉院文書と正倉院宝物
- 【第15回】 正倉院文書の研究環境—学期末レポート作成に向けて【オンライン授業】